

ふくい街角景気速報

(平成21年8月分)

調査期間 平成21年8月18日～27日 (回答率: 100%)

概況

景気の現状は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

■景気の現状判断DI 47.0 (前月比 +1.4)

家計部門では、小売店やショッピングセンターなどで来客数、客単価が減少しており、天候不順の影響から衣料や飲料など夏物商品の売行きが不調との声が聞かれた。一部で、お盆時期の売上増加やエコポイント等の経済対策の効果もみられた。

企業部門では、運輸関連で貨物取扱量の持ち直しがみられたものの、さまざまな業種で受注量が横ばいで推移し、受注価格も減少傾向にあるとの声が聞かれた。

雇用部門では、求人数の動きに変化がないとの声がある一方、一部の業種で業況が上向いているとの声も聞かれた。

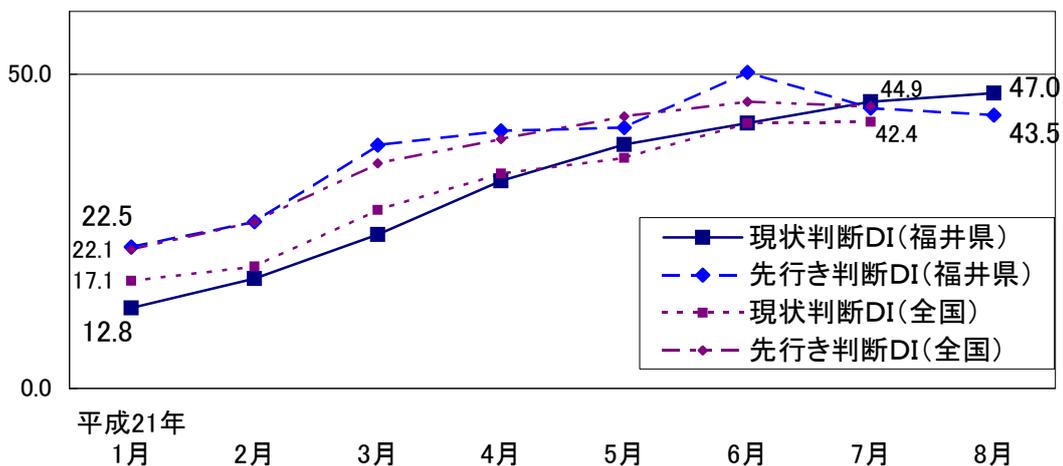
■景気の先行き判断DI 43.5 (前月比 ▲1.1)

家計部門では、新型インフルエンザの流行や総選挙の影響、所得減少に伴う消費の冷え込みを懸念する声が聞かれた。

企業部門では、受注の先行き不透明感や、販売価格の下落傾向を懸念する声が聞かれた。

雇用部門では、求人や採用状況に依然厳しさがみられる一方、製造関連企業で受注持ち直しの動きがみられるとの声も聞かれた。

ふくい街角景気速報 判断DIの推移



<目次>	調査の概要	1 P
	1. 景気の現状判断DI	2 P
	2. 景気の先行き判断DI	3 P
	3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
	(2) 景気の先行き判断の理由	8 P
	4. 参考 (1) 調査対象の構成	1 2 P
	(2) 調査票	1 3 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	40	22	13	5
坂井	坂井市、あわら市	10	6	4	0
奥越	大野市、勝山市	13	8	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	16	6	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	21	12	6	3
	計	100	54	34	12

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3カ月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月下旬に調査実施し、翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、47.0となり、7カ月連続で上昇した。
 また、「変わらない」とする回答が6割近くを占め、回復傾向とする回答は2割あった。
 家計部門では、小売店やショッピングセンターなどで来客数、客単価が減少しており、天候不順の影響から衣料や飲料など夏物商品の売行きが不調との声が聞かれた。一部で、お盆時期の売上増加やエコポイント等の経済対策の効果もみられた。
 企業部門では、運輸関連で貨物取扱量の持ち直しがみられたものの、さまざまな業種で受注量が横ばいで推移し、受注価格も減少傾向にあるとの声が聞かれた。
 雇用部門では、求人数の動きに変化がないとの声がある一方、一部の業種で業況が上向いているとの声も聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	2009 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		24.5	33.0	38.8	42.2	45.6	47.0	+1.4
家計動向関連		22.7	29.4	35.2	36.3	41.2	41.2	+0.0
小売		17.6	25.0	33.8	34.1	37.1	37.5	+0.4
飲食		37.5	40.6	40.6	43.8	56.3	50.0	▲6.3
サービス		27.1	35.0	35.4	37.5	41.7	45.8	+4.1
企業動向関連		25.0	37.5	44.1	50.7	51.5	52.2	+0.7
製造業		25.0	38.5	45.2	50.0	51.0	51.9	+0.9
非製造業		25.0	34.4	40.6	53.1	53.1	53.1	+0.0
雇用関連		35.7	35.4	39.6	43.8	47.9	58.3	+10.4

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(7月調査結果)
 現状判断DI 42.4

○回答別構成比

	年 月	2009 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなっている		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	▲1.0
やや良くなっている		5.3%	11.3%	20.0%	15.2%	19.6%	19.0%	▲0.6
変わらない		23.2%	36.1%	34.0%	51.5%	49.5%	58.0%	+8.5
やや悪くなっている		35.8%	25.8%	27.0%	20.2%	20.6%	15.0%	▲5.6
悪くなっている		35.8%	26.8%	19.0%	13.1%	9.3%	8.0%	▲1.3

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、43.5となり、2カ月連続で低下した。
また、「変わらない」とする回答が半数を占め、悪化傾向とする回答は3割あった。

家計部門では、新型インフルエンザの流行や総選挙の影響、所得減少に伴う消費の冷え込みを懸念する声が聞かれた。

企業部門では、受注の先行き不透明感や、販売価格の下落傾向を懸念する声が聞かれた。

雇用部門では、求人や採用状況に依然厳しさがみられる一方、製造関連企業で受注持ち直しの動きがみられるとの声も聞かれた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	2009 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		38.7	41.0	41.5	50.3	44.6	43.5	▲1.1
家計動向関連		33.3	36.3	37.5	46.7	39.2	38.9	▲0.3
小売		29.4	31.8	36.8	42.4	39.5	36.0	▲3.5
飲食		43.8	43.8	43.8	56.3	43.8	46.9	+3.1
サービス		37.5	45.0	35.4	52.1	35.4	41.7	+6.3
企業動向関連		45.6	47.8	46.3	56.6	49.3	45.6	▲3.7
製造業		48.1	49.0	49.0	54.8	50.0	48.1	▲1.9
非製造業		37.5	43.8	37.5	62.5	46.9	37.5	▲9.4
雇用関連		46.4	41.7	45.8	47.9	54.2	58.3	+4.1

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(7月調査結果)
先行き判断DI 44.9

○回答別構成比

	年 月	2009 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなる		2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなる		14.7%	12.4%	14.0%	28.3%	16.5%	13.0%	▲3.5
変わらない		36.8%	51.5%	49.0%	50.5%	51.5%	56.0%	+4.5
やや悪くなる		28.4%	23.7%	26.0%	15.2%	25.8%	23.0%	▲2.8
悪くなる		17.9%	12.4%	11.0%	6.1%	6.2%	8.0%	+1.8

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計動向	嶺南	スーパー	・お盆時期の売上は、ジュース類など一部伸び悩んだものもあるが、全体として前年比で増加した。	
		奥越	精肉販売店	・季節柄もあり、商品に動きがあった。 ・高い商品よりも安い手ごろな商品から売れていく状況にある。	
		奥越	自動車・建設機械整備	・3か月前と比較すると補助金制度の効果が上がっているが、先月からの比較ではその影響も薄れている。	
		坂井	温泉旅館	・昨年よりも集客人数が増えた。	
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・お盆、帰省需要の好調な推移とギフト処分セールの影響から売上は回復傾向にあると思われる。	
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・3か月前と比べて前年比がやや上向いている。	
		福井	割烹	・今日は客の動きが良い。	
	企業動向	嶺南	運輸	・自動車関連貨物の取扱いが上向いている。	
		福井	運輸	・受注高が若干上向いてきた。	
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動き、取引先の様子から。	
	雇用	奥越	高校就職担当者	・求人状況は厳しいが、少しずつ上向いてきている。	
		福井	大学就職担当者	・求人数は全体で昨年比28.5%減少、県内企業は30.7%減少。 ・周辺企業の状況は、電子部品、自動車部品で一部景気上向きの傾向。土木・建築関連は依然不振が続く。	
		福井	就職情報誌編集者	・電子部品の会社を中心にやや回復傾向になってきており、派遣会社への依存も少し増えてきている。	
		丹南	自治体労働政策担当課	・有効求人倍率・離職者数・企業の業況から。	
	変わらない	家計動向	丹南	小売店	・売上は前年比90%程度で推移している。 ・民間企業の夏休みが短く帰省される方が少なかったこともあり、来客数は減少した。
			奥越	商店街	・立ち直っている職種がない。
丹南			百貨店、ショッピングセンター	・客単価が相変わらず低迷している。 ・特に衣料品の低迷が顕著であり、夏のバーゲン等の手応えも薄かった。	
奥越			百貨店、ショッピングセンター	・夏場の天候不順で、衣料や飲料など季節商品の売上が下降ぎみで推移している。 ・自治体の助成により、テレビの売上は比較的好調に推移している。	
嶺南			旅館	・6月までは前年度と比較できないほどの落ち込みであったが、ここ7・8月は10%弱にとどまってきた。 ・良くない状況であることは確かだが、手の施しようがないという時期は脱したかのように思われる。	
福井			ビジネスホテル	・来客数、客単価、競争相手の様子から。	

現状	分野	地区	業種	理由
		福井	ビジネスホテル	・スポーツ団体の夏合宿誘致など、新しい試みにより現状維持できている。
		嶺南	ドライブイン	・個人消費が冷え込んでいる。
		丹南	美容室	・スーパーなどレジの休止が目立つ。3台中1台のみが稼働という風景が見受けられる。
		奥越	特産品等販売店	・お盆に帰省客や観光者の来客数の増加は見られたが、観光バスの入り込み客数が少なくなり、お盆以外の来客数は減少した。
		福井	居酒屋	・県外客は多かったが、選挙前で飲食は自粛傾向である。
		丹南	菓子製造・販売	・8月はお盆などの需要があるため例年どおりの状況。天候も涼しかったため、お客様も行動しやすかったのかもしれない。
		福井	文具販売店	・販売量、単価の動きから。
		嶺南	ドライブイン	・天候があまり良くなかったが、それなりに来客があった。
		嶺南	商店街	・新型インフルエンザの流行期に入ったが、春に新型インフルエンザの発表があった時から、バスによる団体旅行が激減している状況。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・ジャストシーズンものの動きは前年に比べ良くなっていないが、ジャストシーズンもので値下げが始まったものは売れており、価格メリットがあるものが売れている。
		奥越	ドラッグストア	・販売量の動きから。
		嶺南	家電量販店	・TVはエコポイントの関連で順調だが、冷蔵庫、エアコンは天候の関係で苦戦。 ・小型商品は伸びている。
		福井	コンビニエンスストア	・天候不順により行楽・レジャー客が減少。 ・飲料・アイスクリームの需要低下による売上高の減少が大きい。 ・お盆以降は、ETC割引の影響もあり、車での帰省客やレジャー客等の客数増加は見込める。
		嶺南	タクシー運転手	・昼夜、お客様の動きが以前と変わらず良くない。 ・他社の動きもあまり良くない。
		坂井	旅行代理店	・販売額的には前年比2割から3割減で推移している。関係機関とほぼ同様の数値であり、業界を取り巻く環境が現れていると推測される。 ・先行きの不透明感から、消費の手控えが続いている。
		坂井	居酒屋	・平日の客の入りが悪い。
		企業動向	丹南	眼鏡
	坂井		繊維	・受注量や販売量の動きから。
	奥越		繊維	・消費動向が低迷を続けていることもあり、受注の先行きに力強さがなく、厳しい状況が続いている。
	福井		繊維	・受注量の変化ない。また、アパレル、問屋業界に動きがない。
丹南	鉄鋼		・得意先各社の在庫調整が進まず受注が回復していない。	
坂井	一般機械		・大手企業は徐々に回復しているが、まだまだ低減状態には変わらない。	

現状	分野	地区	業種	理由
		嶺南	建設	・マスコミでは景気は上向きと報道されているが、政治の不安定さもあり、仕事量（今後）の安定には結びついていない。
		福井	商社	・法人向けの販売量が減少しているが、個人向けは前年並みである。
		福井	医薬品	・景況に影響されられると思われる一般薬、健康食品の売上に増加傾向が見られない。 ・また、一般小売業界での競争激化により、上記品目についての価格は一層厳しいものとなっている。
		福井	金融機関	・鉱工業生産指数に一部回復の数値が表れてきているものの、電子部品・デバイス等を取り扱う一部の企業に限定されており、繊維関連・眼鏡関連の企業の生産動向は回復に至っていない。
		福井	金融機関	・受注量や販売量（売上高）について、どの業種においても大きな変化は見られない。ただし、景気自体が低迷していることに変わりはない。
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きから。
		福井	IT関連	・商談の件数は増加しているが、結論が伸びている。 ・価格が非常に厳しい状況になっている。
		坂井	IT関連	・中間決算（9月）の状況を見ると、売上げ・利益ともよくない。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・奥越地区の7月の有効求人倍率は、6月より0.01ポイント上昇したが、求人数・採用者数は全体的に変化はない。企業の設備投資状況も、変化なく弱い。
		丹南	高校就職担当者	・求人数の動きから。
		嶺南	大学就職担当者	・企業業績は、ある程度回復しているようであるが、採用計画（来年度卒業見込）の大幅な改善はないと思われる。
		福井	ジョブカフェ担当者	・ヤングハローワークの求人数が増えていない。 ・22年3月卒業予定の学生で内定していない者が多くジョブカフェに来所していない。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・雇用を取り巻く状況は3か月前とあまり変化なし。
		福井	就職情報誌編集者	・求人数の動きに変化が見られない。
やや悪くなっている	家計動向	福井	スーパー	・来客数、客単価、買上点数が減少傾向にある。
		嶺南	商店街	・前年と比べても来客数が減少している。
		丹南	商店街	・夏場の天候不順の影響が大きい。 ・本来売れるべきモノが動いていない。
		坂井	土産品等販売店	・高速道路休日割引の効果で、土日祝日はお客様が若干増えてきているものの、お土産にお金を使う動きはみられない。
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	・店舗間を移動する催事業者の売上高が低迷している。
		坂井	衣料品販売店	・冷夏により販売不振である。
		嶺南	自動車販売・整備	・個人消費がシビアになってきている。

現状	分野	地区	業種	理由
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・景気感の悪さは先月と同様変わらないが、8月は売上の規模が6～7月に比べ小さく、いつもと違うお客様の来店も多いため、新規顧客の買上動向が目立ち、買上客数は前年をこえている。 ・高額品の動きは相変わらず鈍いため、売上は前年割れである。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・来客数は減少傾向だが、レジ客数は増加している。 ・客単価、買上品数が低下している。
		福井	タクシー運転手	・値下げしているにも関わらず乗車回数は減ってきている。
	企業動向	丹南	眼鏡	・レンズも価格競争のため安価な外国産が流入している。
		福井	不動産	・顧客が減少している。
		坂井	非鉄金属	・冷夏の影響が出てきて、受注量が減少した。
悪くなっている	家計動向	福井	家電量販店	・県内中小企業にとって、冬には最悪の状況が来ると思う。
		丹南	スーパー	・厳しい状況は変わらず続いている。 ・お客様の購買も無駄な買い物を控えている。 ・客単価は依然回復していない。 ・競合店のチラシ頻度、ポイント、セール価格に注視している。
		福井	コンビニエンスストア	・競合チェーン店の出店激化、消費の低迷、冷夏の影響により、夏季の売上げの主力であるソフトドリンク、アイスクリームが大幅に前年割れとなった。
		坂井	百貨店、ショッピングセンター	・天候不順が続き、盛夏物の販売が不振に終わった。衣料はもとより、食品でもアイス、ドリンクの売上げの大きな商品が不振に終わり、非常に厳しい商戦であった。 ・盆商戦においても、ETC効果で帰省客の増加も期待したが、天候の不順で安定したお客様の来店が見られず、プラス効果がなかった。
		嶺南	大型小売店	・7月の販売額、来客数、客単価がすべて減少している。
		福井	旅行代理店	・来店客数が減少している。 ・一般企業の需要が発生できていない。
		福井	スナック	・8月は特に客の入りが悪い。 ・選挙があると客が減るが、今回は特にひどい。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなる	家計動向	嶺南	旅館	・新しい政権が誕生すれば、新しい機運も芽生える。 ・新型インフルエンザの大流行さえなければ、緩やかな回復基調も見えてくる。	
		奥越	特産品等販売店	・観光シーズンを迎え、来客数が増加するとともに、特産物の収穫時期に入り、売上高が増加すると思われる。	
	企業動向	福井	繊維	・政治的な変化に期待。	
		福井	運輸	・メーカーの増産に期待している。 ・景気の底は見た感がするが、一層の合理化は必要だと考えている。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・全国の景気に一部持ち直しの動きが見られ、期待感からやや良くなると判断。 ・市内大手企業が、エコカーの生産増により若干の受注増が見られる。	
		奥越	高校就職担当者	・地元企業（製造関係）関係者から「少しずつ持ち直している」との声がある。	
		福井	大学就職担当者	・中国・アメリカの景気回復の兆し。 ・日本国内での自動車、家電製品の売れ行きが好調。	
		福井	就職情報誌編集者	・飲食関係（サービス業）はあまり良くなる要素はないが、製造系は受注が増加すると予想する会社が多くなっている。	
	変わらない	家計動向	丹南	小売店	・衆議院選挙の結果次第で状況が変わると思う。
			福井	スーパー	・販売実績の傾向から大きな落ち込みはない。 ・求人などの状況から消費者の収入が改善されるとは考えがたく、半年程度は現状維持またはやや悪くなると思う。
丹南			百貨店、ショッピングセンター	・現状を打破するような要因が見当たらない。 ・テレビや新聞で報道されている景気回復、消費者物価指数の上昇などがほとんど感じ取れない。	
奥越			百貨店、ショッピングセンター	・お客様の消費意欲はそれほど変わってこないと思われる。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・秋物商戦が始まるが、トレンド性のあるもので、さらに価格が低く設定されている商品が売れると思われる。 ・客単価がアップするとは思えない。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・帰省対応、ギフト処分など催事の動向によるものが大きく、固定客数は回復していないため。	
坂井			衣料品販売店	・政権交代での期待と不安が五分五分。	
嶺南			商店街	・衆議院の選挙結果で状況が変わってくるかもしれない。	
丹南			商店街	・国政もどうなるか分からない中で、消費が良くなるとは思えない。	
丹南			美容室	・地方商店街にとっては大変厳しい状況。長期にわたる景気の低迷傾向が深刻化している。	
丹南			菓子製造・販売	・特別な理由はないが、例年9、10月はあまり良くないため。	

現状	分野	地区	業種	理由	
		福井	文具販売店	・販売単価が下がったままの状況である。	
		嶺南	ドライブイン	・時季的なことがある程度で、身の回りの景気は変わらないと思う。	
		嶺南	ドライブイン	・大阪・名古屋等では景気も上向きという記事を目にするが、入込数は変わらず低迷状態で、個人消費に関しても、単価最安値への商品への需要が高い。	
		奥越	自動車・建設機械整備	・秋・冬に向かって建設業界の仕事がどれだけのるかによる。	
		嶺南	家電量販店	・実際の収入は増えていないようで、消費に結びつく気配がない。	
		福井	ビジネスホテル	・宿泊部門については、下期も現在と同じ状況と見込んでいる。 ・宴会部門については、下期増収を見込んでいる。	
		福井	コンビニエンスストア	・上半期の企業の業績や政治への不安など、すぐに景気回復が見込める条件は少なく、引き続き生活防衛意識は高い状態が続く。	
		福井	コンビニエンスストア	・外部環境は悪化する一方である。特に今後景気が回復する要素も見当たらない。	
		嶺南	タクシー運転手	・景気対策の効果が表れてこない。	
		福井	スナック	・景気が良くなる材料がない。	
		坂井	居酒屋	・明るい見通しが無い。 ・本来なら8月は一番忙しいが、選挙があるため客の入りが悪い。	
		企業動向	丹南	眼鏡	・受注量が少ないことが第一の原因だが、製品単価が下がっているのも今後の問題になると思う。
			坂井	繊維	・消費の低迷、円高。
			奥越	繊維	・在庫調整・生産調整がほぼ終了したことから、受注などの変化を期待しているものの、合繊メーカーの縮小・撤退などの大きな変化があり、その影響が懸念される。
		坂井	一般機械	・今後は、中小・零細企業の受注量がそれ程回復しないことから、体力のない企業の倒産がさらに増えると思う。	
		福井	医薬品	・一般的な景気の回復傾向は見られるが、価格面での厳しさが緩和されることは考えにくい。	
		福井	金融機関	・政府の経済対策により、景気動向の下げ止まり感はあるが、消費動向・雇用動向は依然として厳しく、景気回復には時間を要するものと考ええる。	
		福井	金融機関	・株価の持ち直しなど、明るい話題はあるが、すぐに地方経済に反映するとは考えられず、この先の経済情勢は不透明である。	
		福井	化学・プラスチック	・取引先の様子から。	
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きから。	
		嶺南	運輸	・夏の異常気象で農産物の作柄が悪く、貨物の減少につながる可能性がある。	
		福井	IT関連	・下期後半に期待したい。	
		雇用	丹南	高校就職担当者	・求人数に動きがない。
			嶺南	大学就職担当者	・来年度卒業見込の学生の求人について、採用計画はほぼ今年度並みという企業の声を聞くようになった。

現状	分野	地区	業種	理由
		丹南	自治体労働政策担当課	・大手企業の電子デバイス・輸送機械においては受注増であるが、中小企業においては、以前受注が厳しい状況にある。
		福井	ジョブカフェ担当者	・少しずつ景気回復の兆しはあるが、実態はまだまだ厳しいと感じている中小企業が多い（採用をしていない中小企業が多い）。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・少しでも良くなってほしいと思うが、エコカー減税等は失業者にとっては関係ないことだと求職者からの声を聞いた。
やや悪くなる	家計動向	嶺南	商店街	・夏場の売上不振の影響が、今後店舗間における安売合戦につながり、経営環境は悪化するものと思われる。
		奥越	商店街	・各分野の景気が上向いていない。
		坂井	土産品等販売店	・今まで以上に、必要最小限でお金を使う節約型の方が増えてくると思う。
		嶺南	自動車販売・整備	・政局の停滞などが考えられ、様子見の状況となりそうである。
		奥越	写真館	・奥越地域はまだ景気が悪くなっていくように感じている。 ・一方、企業努力次第で差別化を図れるチャンスでもあると思う。
		福井	居酒屋	・夏に思ったほど客足が伸びなかったため。
		福井	割烹	・オフィス街に立地しているため、9月は祝日が多く、あまり客が動かないと思う。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・株価10,000円を超過しても、相変わらずお客様のサイフのヒモが堅く、我々の売場でのパロメーターになる一品単価100万円以上の売上がほとんどないため。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・新型インフルエンザの感染が拡大傾向であり、影響が懸念される。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・所得金額の減少と雇用不安の広がり、新型インフルエンザの流行も不安材料。
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	・空き店舗が増え、来客数が減少していている。
		奥越	ドラッグストア	・お客様の買い上げ数が減少傾向。
		坂井	温泉旅館	・倒産企業がなくならないため。
		福井	タクシー運転手	・繁華街に人の動きがない。
		福井	ビジネスホテル	・新型インフルエンザ大流行の予測があり、ビジネスマンの出張の減少が予測される。
		福井	旅行代理店	・先行受注や団体旅行受注、来店客数の状況などから。
		坂井	旅行代理店	・今後、新型インフルエンザの流行により、移動の手控えが爆発的に増加することが予測され、万一、そのような事態になった場合は、今より確実にさらに悪くなる。
			企業動向	丹南
丹南	眼鏡			・付加価値のある商品を開発できなければ市場から退場しなければならない。
福井	商社			・生産工場の減産が続くと予想され、販売量の増加はあまり見込めない。

現状	分野	地区	業種	理由
		丹南	電気機械	・クリスマス商戦向けの部品手配・出荷は終わっていると思われる。 ・冬の賞与が夏の賞与をさらに下回るようなら、悪化レベルがもう一段大きくなるだろう。
		坂井	IT関連	・流通関係も受注が厳しくなっている。 ・先行きが見えないため、一般的に発注がない。
悪くなる	家計動向	坂井	大型小売店	・雇用環境に不安があり、所得の伸びが期待できない。
		福井	家電量販店	・県や市の入札金額が暴落しているため。
		丹南	スーパー	・景気回復の兆しははっきりとは見えず、政治不信も加わり、先行き不安から回復は当面期待できないものと考える。
		坂井	百貨店、ショッピングセンター	・夏のボーナスが出揃った月は商戦となるも予想以上の厳しさがみられた。もちろん天候の不順も要素としてはあるが、今後上期の決算内容が悪いなか、冬のボーナスへの期待感も薄れ、また、インフルエンザの影響による来店の減少も予想されることから、今後もますます消費の冷え込みが予想される。
	企業動向	福井	不動産	・選挙により消費活動が抑えられるため。
		嶺南	建設業	・政治の不安定さと政権交代にて生じる公共工事の更なる発注減少の不安。
		坂井	非鉄金属	・半導体製造装置用材料の受注は低迷したままであるのに加え、冷夏の影響で缶用材料の受注が急激に冷え込んでいる。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		54
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	売場主任・店長・従業員	11
スーパー		
	店長・従業員	4
家電販売店		
	経営者・店員	2
コンビニエンスストア		
	エリア担当	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン、ファストフード等営業担当・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	4
その他サービス関連		
	自動車販売・整備業経営者・従業員	2
	美容室 経営者・従業員	1
	福祉施設 経営者・従業員	1
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	2
企業動向関連		34
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	3
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸関連	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	3
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	2
	運輸	2
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3カ月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3カ月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)